

数多くの消化器がんの中で胃悪性リンパ腫ほど最近様々な知見が明らかにされ、かつての理解が一変されたものはない。特に Isaacson らが提唱した MALT リンパ腫の概念は、腫瘍(節外性 B 細胞リンパ腫)の発生機序を免疫学的な機転に求めた点で画期的であり、従来、とすれば waste-basket 的に用いられてきた反応性リンパ増殖症(RLH)の内容を再吟味するよい機会をわれわれに与えている。このような考えから、本号には MALT リンパ腫を主題として取り上げ、第一線で活躍中の諸先生に執筆をお願いした。

企画段階では MALT リンパ腫、殊に低悪性度 MALT リンパ腫と RLH との異同がマクロ、X

線、内視鏡像で捉え切れるかどうかに一抔の不安があったが、各論文に示されたように、組織学的に低悪性度であっても、MALT リンパ腫には粗大化した胃小区模様、網状びらん、褪色域の形成など、共通した特徴像を指摘しえた。また、DNA 診断が有力な補助診断法となりうることも明らかにされた。本疾患の発生には *Helicobacter pylori* 感染との関連が取り沙汰されており、除菌治療の有効性が最近議論を呼んでいる。このような MALT リンパ腫をめぐる様々な問題を語るうえで、本号が共通の物差しを提供できたとすれば幸いである。末筆ながら執筆を担当された諸先生方の御努力に深謝したい。

胃と腸

2月号(第31巻・第2号) 予告

発売予定 2月25日
定 価 2,060円(税込)

主題／いわゆる表層拡大型大腸腫瘍とは

序 説	表層拡大型大腸腫瘍……………群馬県立がんセンター	長 廻 紘
主 題	表層拡大型大腸腫瘍の病理組織学的検討……………東京都がん検診センター	大倉 康男・他
	表層拡大型大腸腫瘍の病理形態学的特徴……………新潟大・1病理	安田 一弘・他
	臨床からみた表層拡大型大腸腫瘍……………秋田日赤・胃腸センター	工藤 進英・他
	臨床からみた“表層拡大型大腸腫瘍”の検討……………国立がんセンター中央病院・放	石川 勉・他
	表層拡大型大腸腫瘍—私はこう考える……………癌研・内科	丸 山 雅 一
	表層拡大型大腸腫瘍—私はこう考える……………京都第一日赤・胃腸科	多 田 正 大
	表層拡大型大腸腫瘍—私はこう考える……………自治医大・外	小 西 文 雄
	表層拡大型大腸腫瘍—私はこう考える……………大阪府立成人病センター・病理検査科	石 黒 信 吾
	表層拡大型大腸腫瘍—私はこう考える……………昭和大学豊洲病院・消	松 川 正 明
	表層拡大型大腸腫瘍—私はこう考える……………済生会熊本病院・消	多田 修治・他
	表層拡大型大腸腫瘍—私はこう考える……………旭川医大・3内	斉 藤 裕 輔
	表層拡大型大腸腫瘍—私はこう考える……………久留米大・2内	鶴 田 修
主題症例	大腸 lateral spreading tumor-nongranular type の2例……………順天堂大・消内	寺井 毅・他
	盲腸の表層拡大型大腸癌の1例……………藤田保健衛生大・内	中野 浩・他
	直腸中部に6×4cmの結節集簇様 adenoma with severe dysplasia を認めた1例……………林外科	高木 國夫・他
	結節集簇様病変を呈した長径5cmの表層拡大型大腸腫瘍の1例……………多摩がん検診センター	中井 呈子・他
	非結節集簇様大腸腫瘍の1例……………国立がんセンター東病院・内	尾田 恭・他
今月の症例	虚血性大腸炎の1例……………南風病院・消内	大井 秀久・他

胃と腸 (第31巻 第1号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷 5-24-3

☎ 本誌編集室直通 (03)3817-5714

販売部直通 (03)3817-5659

1996年1月25日発行(毎月25日発行)

1部定価 2,060円(本体2,000円)(配送料124円)

1996年年々ぎめ予約購読料 28,000円(本体27,184円)

(増刊号4,120円を含む13冊)(送料弊社負担)

FAX (03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693

印 刷 所 永和印刷(株) ☎(03)3813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎(03)3814-5771

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1996, Printed in Japan.

• 本誌に掲載された著作物の複写・転載およびデータベースへの取り込みに関する許諾権は医学書院が保有しています。

• **R** <日本複写権センター委託出版物・特別扱い>

• 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。本誌は日本複写権センターの特別委託出版物です。複写される場合は、そのつど事前に日本複写権センター(03-3401-2382)の許諾を得てください。

(担当)小松原・江口・竹中・長谷川